

企業概要

ヒザワ種苗 株式会社

業種 種苗卸売業(昭和45年創業)

群馬県前橋市宮地町258

TEL 027-212-7611

課題と補助金活用のきっかけ

「ありがとうを支える、バックヤードDX」
種苗専門卸として信頼を集める当社では、年間2万枚を超える注文FAXの管理が課題でした。紙のやり取りにはヒューマンエラーのリスクがつきもの。農家の“ありがとう”を支えるためにも、正確な事務を担うバックヤードの働きやすさは欠かせません。そこで業務改善に向けてDX化に踏み切りました。

社内DX化を推進するにあたり、ベンダーに相談するなかで、まさに求めていた「FAXの自動仕分け、電子管理」ができるサービスを発見。また、ベンダーから本市補助金を紹介され、申請に至りました。



↓お話を伺ったのは…

代表取締役 樋澤昌和さん(右)

経理部長 落合和人さん(左)

令和7年度

働きやすさと お客様第一のためのDX



一お客様と実直に向き合いながら、
生産性向上を実現し、つぎの成長ステージへ

補助金活用後の効果

DXの導入で、紙の使用量を年間2万枚以上削減。FAX用紙紛失などのヒューマンエラーも抑制されました。

社長は「仕事は利益のためにするものではなく、お客様の“ありがとう”のためにするもの。そして、企業は従業員のためのもの。今後はさらに働きやすさを確保して、100年企業を目指していく。」と語っています。さらに、「種はいきもの。小さな種が、未来のこどもたちの食を支えています。」と話してくれました。“ありがとう”と“いのちの種”を守るためのバックヤード改革は次のDXへとつながっていきます。

活用した補助金

DX推進補助金



補助上限額150万円、
補助率1/3(個人事業主・法人で小規模
企業者は1/2)以内



↑以前は受注確認の返信をするために、FAXの前に30分間立つことも。現在は各自のPCから返信が可能になった。

こちらを
導入!

